世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 57（2025 年６月発行）

熊本で包括的な宣教に取り組む方々との出会い

カタリストの陣内が 4 月に熊本県阿蘇郡にある「高森キリスト教会」を訪問させていただきました（6 月 1 日には同じ教会で神田も礼拝説教奉仕をしました)。牧師の菅原亮師は 2 年ほど前から『もしイエス様が市長だったら』の読書会を開催し、包括的に地域に仕えていく教会を目指しておられます。2 週間にわたり包括的宣教と被造物ケアについて聖書から学び、どのように実践していけば良いか考える実践形式のワークショップを導きました。菅原牧師は 2016 年の熊本地震の支援活動を通して「言葉による福音伝道と魂の救済だけの宣教」の限界を突きつけられました。九州キリスト教災害支援センター（以下九キ災）での活動を通して人々のあらゆる必要に応答していくことでイエスの愛を実践することの大切さを学び、今も熊本市内の病院の緩和ケア病棟での無料コーヒーサービスや地域の方々へのランチと交わりの時間を提供する「コミュニティカフェ」の実践など、包括的な宣教活動を実践されています（これらの活動には私も滞在中参加させていただきました)。

また菅原師は発災直後、地元の方々に全国から送られた救援物資をお届けに行くと「私たちには田んぼがあるから食べ物には困らない。困るのはむしろあなた達なのだから、それは教会で食べなさい」と言われて衝撃を受け、被造物ケアについても学び始めました。「土とともに生きることこそ神がアダム（＝土の子）に願ったことではないか」と気付かされてからは農家の手伝いのアルバイトをするようになり、現在は教会で畑を借りて自然農法を行っています。教会員の中に林業を営む方もおられます。FVI や陣内個人のチャンネルで発信している「被造物ケアの神学」の学びを聞きながら森で作業するときが最も幸せだと仰ってくださいました。5 月からは教会の一部屋をリフォームし「ゆたっと Cafe」という地域に開かれた交流の場を展開しています。高森キリスト教会は決して大きな教会ではありませんが、魂だけではなく人と社会のすべて、人だけでなく自然界をも包摂する「大きな福音」を生きている、日本の宝のような教会だと思わされました。

ゆたっと Café で菅原師のつくったキーマカレーをいただきました

このレターを読んでくださっている皆様や教会も神の前にそのような存在です。教会としてこのようなことを学びたいという方はご一報くださいましたらカタリストを派遣します。ご連絡お待ちしています。　（カタリスト 陣内）

農業を通した「被造物ケア」に関わる一年を振り返って

＜地球沸騰中＞　昨夏始め、畑に出て 40 分も経たないうちに私は初めて熱中症になりかけました。「地球沸騰」は作物にも人にも危険なレベルになっています。長年野外で作業してきた地元の農業者ですら「近年は夏に作業できる時間が少なくなった。」と言います。先日、世界気象機関は世界の 2025 年から 5 年の平均気温が 1.5 度を超える確率は 70%以上と発表し、バレット副事務局長は「これは私たちの経済、日常生活、生態系、そして地球にますます悪影響を与えることを意味する」とコメントしました。人間活動が地球大気や海洋循環全体にこれほど影響を与える時代、地球上のすべての人の生活と生態系の営みを守るには、「被造物ケア」が個人のライフスタイルになり、共同体としての政策変化にまで及ぶ必要があることを、農業の端っこに身を置いたことにより強く感じるようになりました。

＜土と共に生きる＞　地球沸騰を軽減するため、光合成で二酸化炭素を取り込む植物の作物を育てる農業は重要な役割を担います。また、微生物と土壌動物が多い土は二酸化炭素を吸着しやすい構造だそうです（「土と生命の 46 億年史」藤井一至著、講談社）。この一年で、緑肥とミミズのおかげでフカフカして根が伸びやすい土と、根が張りにくい固い土の感触の違いが少し判るようになりました。手をかけ、被造物たちのペースで肥沃になる土で育つ収穫物には、その作物本来の濃厚な味わいがありました。速く大量に工場のように作物を生産することが最高だと私たち人間は錯覚してきましたが、微生物と空気を含む土こそが生物たちと共存して多くの命を支える土台だと気付きました。被造物のペースを尊重して「土と共に生きる」大切さを思い巡らしています。

＜草との共生を探る＞　植物学者の牧野氏が「雑草という名の植物はない。」と語った話は有名です。コンクリートに囲まれた生活を離れ、畑や道ばたの土くれに季節ごとに生えてくる様々な草花が目に留まるようになり、それぞれの息遣いと気質の違いが少し見えてきます。健気に育つ草の一方、作物を羽交い絞めにして瞬く間に生長し、地下茎で自分だけが増え拡がる獰猛？な草にも遭遇します。植物生長を阻害する除草剤の使用は現代の「禁断の実」かもしれません。欧州では一部の除草剤は人体への影響から禁止されましたが、果てしない草との戦いの中に身を置くと、除草剤への誘惑は判る気がします。「根絶やし」ではなく、作物と様々な植物・生物との共生をどう実現できるのかを考えつつ、神が願う「人と被造物の豊かさ」が満ちる「神の国」を待ち望む日々です。（柳沢）

その他の活動（2025 年３～５月）

万座温泉ホテル日進館（群馬）、関東学院中高（神奈川）、東京基督教大学、聖望キリスト教会（以上千葉）、東小金井教会、幡ヶ谷バプテスト教会、東京武蔵野福音自由教会(日本語部。英語部)、MPP コンサート・弥生台キリスト教会（以上東京）、川口中央福音自由教会、北上尾福音自由教会（以上埼玉）、高森キリスト教会（熊本県）、胡屋バプテスト教会、沖縄ヘブンズチャーチ、World Christian Mission School、世界宣教教会、那覇バプテスト教会、MPP コンサート（嘉手納アッセンブリー教会、美里教会、那覇バプテスト教会）（以上沖縄）などで FVI カタリストが奉仕させていただきました（順不同）。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

① 郵便振替：　口座名：「ＦＶＩ」　口座番号：00180-0-300201

② ゆうちょ銀行、三菱東京ＵＦＪ銀行の口座もご利用いただけます。お問い合わせください。

＊このレターは、希望された方に郵送させていただいています。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。

＊国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

●「声なき者の友」の輪　事務局　email:info@karashi.net